

1

スクールソーシャルワーカー（SSW）配置

令和5年度予算:4,124 千円

1. 目的

児童生徒をめぐる問題（不登校、いじめ、虐待）については、学校だけでの問題解決が困難なケースも多く、積極的に関係機関等と連携した対応が求められている。各中学校に社会福祉等に関する専門的な知識や技術を有するSSWを派遣することにより、学校と外部の関係諸機関との連携体制を構築し、児童生徒と家庭（保護者）の問題解決に繋がるようサポートする。

2. 内容

不登校やいじめ等の生徒指導上の課題に対応するため、社会福祉等に関し専門的な知識や技術を用い生徒が置かれている様々な課題を分析・評価し支援するSSW1名を配置している。

SSWは、週3日・1日6時間 我孫子南中学校を拠点校として活動し、「こどもサポートネット事業」と連携して支援を行っている。各学校園からの要請に応じて派遣も行う。また、SSWに対し、専門的実践を行ううえでの指導・助言等をするスーパーバイザー（SV）を委嘱、月1回程度SSWへ指導・助言等を実施している。

3. 令和5年度事業

指標

SSWを活用して解決を図ろうとした事案:36件以上

4. 現在の状況（令和5年10月末現在）

- SSW を活用して解決を図ろうとした事案 24 件（うち、①不登校4件②いじめ、暴力行為、非行等の問題行動、家庭の環境問題4件③友人・教職員等との関係の問題6件④児童虐待7件⑤ヤングケアラー2件⑥家庭環境の問題4件⑦心身の健康・保健に関する問題3件⑧発達障害等に関する問題4件⑨性的マイノリティ2件）
※重複あり
- スーパーバイザーによるスーパーバイズ6件
- 接続校における対応9件
- こどもサポートネット SSW 等との連携
- スクールカウンセラー等との情報共有 など

5. 令和6年度の方向性について

令和5年度に引き続き、スクールソーシャルワーカー(SSW)を1名配置し、こどもサポートネットスクールソーシャルワーカー(SSW)と連携しながら、児童生徒と家庭の課題解決に向けて支援する。

「福祉施策ガイドブック」 不登校児童・生徒家庭支援（教職員サポート）事業

令和5年度予算:126 千円

1. 目的

学校における不登校支援にあたり、福祉的行政サービスを利用できるケースにおいて、どの行政サービスが必要・適切であるかを教員に示すとともに、教員が保護者に区役所等の適切な行政サービスを受けるよう提案していけるよう、行政サービスの情報や仕組みを分かりやすく伝えるための冊子を作成する。

2. 内容

児童・生徒と家庭への支援につながる行政サービス情報を掲載した冊子「福祉施策ガイドブック」を作成し、区内の小中学校・幼稚園24校園へ配付(1校園あたり5部)する。また、住吉区ホームページにも冊子情報を掲載(7月)。

3. 令和5年度事業

指標

各学校園長へのアンケート調査において、当該冊子が不登校支援をはじめ、学校教育活動上「有効・有用である」との回答割合:100%

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 冊子「福祉施策ガイドブック」を作成し、区内学校園及び区役所各課・関係機関等に 233 部配付した。
- 住吉区ホームページに冊子情報を掲載するとともに区内学校園に掲載場所(URL)の案内及び同冊子の活用方法について、アンケート調査実施(7月)

5. 令和6年度の方向性について

区内小中学校・幼稚園から更新・配付の要望があるため、引き続き冊子を作成・配付する。また、保護者等への効果的な情報提供の方法について検討する。

1. 目的

不登校やひきこもり等で悩んでいる若者や就労に自信が持てない若者が、社会生活を円滑に営むことができるようにするために、子ども・若者育成支援地域協議会を開催し、福祉や保健、教育、就労支援、医療などの関係機関が連携し、効果的かつ円滑な支援ができる体制を構築するとともに、相談事業や居場所づくり事業、関係機関や地域のネットワークを活用し、対象者やその家族を支援していく。

2. 内容

- 不登校やひきこもり等で悩む若者やその家族に対する相談(毎週火曜日・木曜日)や居場所事業(月1日 第3火曜日)を実施
- 区民向けの啓発として研修会やフォーラム等を開催

3. 令和5年度事業

指標

相談件数のべ350件以上

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 相談 延べ件数 233件
内訳 : 対応案件56件 (前年度からの継続46件、当年度の新規10件)
主訴 : ひきこもり24件 不登校11件 学校問題等14件 その他7件
- 事前登録者 4名
- 就労支援 2名
- 保護者向け講座(6月29日実施済み、2月13日実施予定)
- フォーラム開催(11月22日実施予定)

5. 令和6年度の方向性について

令和5年度に引き続き、

- 他の支援機関の協力の下、その利用者等の案内により、本人やその家族の同意による事前登録を行い、継続した状況確認を実施する。また、必要に応じて本事業の「相談事業」に結び付けていく
- 自立した社会生活を営むことができるように、当事業からの受け皿として社会福祉施設等の比較的ゆるやかな就労の受入れ先の開拓および、対象者とのマッチングやコーディネートを行い、就労者の定着を目指す
- 支援対象者の特性に応じた効果的な居場所等のあり方について検討していく

「住吉学習クラブ」自主学習習慣づくり支援事業

令和5年度予算:193 千円

1. 目的

子どもの自主学習習慣の定着及び基礎学力向上を図るため、民間事業者と協定を結び、放課後の学校施設を利用して学習支援を行う。

2. 内容

実施場所：遠里小野小学校、我孫子中学校、墨江丘中学校

▶ 週2日、1日2コマ、各校30名程度

実施科目：国語・数学・英語(中3は理科・社会科も対応。)

参加者負担：月額1万円(大阪市塾代助成事業の利用も可能)

3. 令和5年度事業

指標

受講後のアンケートで「受講前より学校の授業以外の学習時間が増えた」と回答する受講者90%以上

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 令和5年度事業者:株式会社トライグループ
- 各教室の人数(10月末時点)
遠里小野教室12人 我孫子教室38人 墨江丘教室17人 合計67人
- 無料体験会実施:令和5年7月25日、28日

5. 令和6年度の方角性について

引き続き、中学生対象の教室は遠里小野小学校、我孫子中学校、墨江丘中学校の3教室で事業を実施する。

新たに小学生を対象とした「すみよし学習クラブ(ジュニア)」を区内小学校1~2校程度で新たに開始する(10月末時点で実施校は未定)

すみよし学びあいサポート事業 (生活困窮世帯の中学生への学習支援)

令和5年度予算:4,463 千円

1. 目的

生活保護世帯を含む生活困窮世帯の中学生を対象に「学びあいの場」を提供。

地域ボランティアの活用や基礎学力向上のための学習支援を行うことにより、勉強意欲を高めて高校進学率を高めるとともに、不登校リスクのある生徒の問題解決を図る。

2. 内容

事業対象：学習意欲を有する中学生30～40名程度

実施場所：錦秀会住吉区民センター

実施回数：火曜日・金曜日(年間65回) 1回2時間(18時45分～20時45分)

実施内容：少人数での学習支援

受講料：無料

実施手法：株式会社キズキへ委託

3. 令和5年度事業

指標

- ① 参加生徒の出席率 80%以上
- ② 参加生徒の成績向上率 70%以上

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

継続的な出席や成績向上を目指し、個々の子どもの実情に応じた少人数の学習支援を年間65回行い、学習習慣の形成と基礎学力の向上を図っている。

利用者 20名

出席率 76.4%(9月末現在)

5. 令和6年度の方向性について

令和5年度に引き続き、生活困窮世帯(生活保護世帯を含む)の中学生を対象に、「学びあいの場」を提供し、基礎学力の向上の為の学習支援を行うことにより、学習意欲を高めるとともに、不登校リスクのある生徒の問題解決を図る。

1. 目的

発達の特徴等が背景にあり、行動面・学習面・情緒面で困難を有する児童について、心理相談員が保護者からの相談や学校等関係機関との連携を通して、児童の成長発達を促進する。

2. 内容

心理相談員(2名配置)による当該児童・保護者との個別面接、行動観察等を通じた児童の特性の査定及び、特性理解について学校等関係機関に対するコンサルテーションやケースカンファレンスへの参加を行う。

3. 令和5年度事業

指標

本制度の利用で発達障がい児童の学校生活がスムーズになったと感じる学校の割合が80%以上

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 2名の心理相談員が160件のケースを分担して担当している
- 保護者面談・児童との個別面談を定期的に行っている。また、学校等関係機関と連携し、環境調整等を行っている。必要に応じ、ケース会議にも出席している

5. 令和6年度の方向性について

引き続き、2名の心理相談員を配置し、保護者からの相談や学校等関係機関との連携を通して、児童の成長発達を促進していく。

こどもの朝食欠食率改善推進事業

令和5年度予算:43 千円

1. 目的

朝食を欠食する子どもの割合を減少させるため、平成29年度から令和元年度までの3年間、関係協力機関と協働でモデル校に対して学習事業を実施した。実施後の食生活に関するアンケート調査を踏まえ、夏休みの課題「バランス朝ごはんを作ろう！」を他校においても実施し、保護者への啓発を強化するため、朝食リーフレットを配布する。

2. 内容

- 区内中学校で、夏休みの課題「バランス朝ごはんを作ろう！」を実施する
- 保護者懇談会の期間中やイベント時等において、校内でフードモデルを展示し、保護者や生徒への啓発を図る
- 保護者懇談時等において、「朝ごはんを食べよう！」を題材としたリーフレットを保護者に配布する

3. 令和5年度事業

指標

- ① 夏休み課題「バランス朝ごはんを作ろう！」の実施を区内中学校全校に広める
- ② 区内中学校全新1年生に朝食啓発用冊子を配付
- ③ 区内中学校全校で懇談時等において、保護者に「朝ごはんを食べよう！」を題材としたリーフレットを配付

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 区内中学校7校で、夏休みの課題「朝ごはんを作ろう！」を実施(1校は冬休みで検討中)
- 区内中学校全校で朝食啓発用冊子を全新1年生に配付(在校生には前年度配付済み。8校)
- 区内中学校全校で保護者懇談時等において、リーフレット(テーマ:朝食の大切さについて)を保護者に配付(8校)
- 行事実施時等の機会を捉え、校内でフードモデルの展示及びリーフレット(テーマ:朝食内容について)を配付

5. 令和6年度の方向性について

- 夏休み課題「朝ごはんを作ろう！」の継続実施。各中学校の状況や指導内容に応じたテーマでの実施とし、各中学校がより取り組みやすい実施内容とする
- 夏休み前に、朝食啓発用冊子を区内中学校全新1年生に配付
- 区内中学校全校で保護者懇談時等において、リーフレット(テーマ:朝食の大切さについて)を配付
- 保護者懇談会の期間中やイベント時等において、校内でフードモデルを展示し、あわせて朝食についての啓発用リーフレットを配付

1. 目的

生涯学習推進員やはぐくみネットコーディネーターの活動を支援し、小学校を拠点とした学習機会の提供、地域における人と人や諸団体の間の繋がりを深めていくことで、豊かな地域教育コミュニティづくりをすすめる。

2. 内容

「生涯学習推進員」「はぐくみネットコーディネーター」の活動支援として、会議の開催支援や研修・交流会を実施し地域活動における教育コミュニティづくりに関する見識を深め、ボランティア同士のコミュニケーションを深める機会をつくる。(令和5年6月末現在：生涯学習推進員 57名、はぐくみネットコーディネーター 93名)

3. 令和5年度事業

指標

- ① 「学習の成果を学校園・地域に還元できたと思う」と回答した生涯学習推進員の割合75%以上
- ② 「はぐくみネットコーディネーターの活動により、こどもの教育のための地域のネットワークが前年度に比べて深まったと思う」と回答したはぐくみネットコーディネーターの割合60%以上

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 生涯学習推進員 56名
- 生涯学習ルーム事業の区広報紙特集記事(9月号)・HP や SNS 等による広報(随時)
- 生涯学習推進員研修の開催(11月実施予定)
- はぐくみネットコーディネーター 93名
- はぐくみネットコーディネーター会議の開催(7月)

5. 令和6年度の方向性について

- 引き続き、生涯学習推進員の知見を学校園に還元できるよう支援するとともに、魅力ある「生涯学習ルーム事業」の周知・活動支援に取り組む
- はぐくみネットコーディネーター同士の交流促進とその機能を高めるコーディネーター会議・研修会を通じ、地域の教育コミュニティ・ネットワークづくりを支援する

あいさつ運動の推進

令和5年度予算:59 千円

1. 目的

「住吉区徳育基本プラン」に基づき、絆や調和を大切に、「和」を尊ぶ道徳心に満ちた人材を育成するため、「あいさつ運動」に取り組む。人と人のかかわりを大切にする人材の育成を図り、あいさつの声があふれる活気あるまちになることをめざす。

2. 内容

家庭、学校、地域であいさつの輪が広がるよう、大人も子どもも自分から進んであいさつをする運動を進めるため、地域団体等へののぼりの設置や広報活動を行う。

3. 令和5年度事業

指標

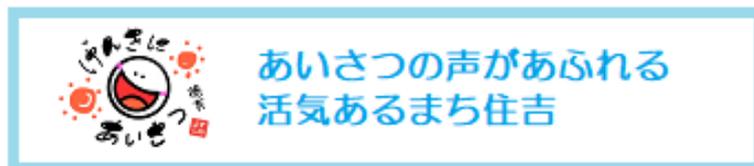
住吉区の学校園、地域などであいさつが活発に交わされていると感じる区民の割合:50%以上

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 住吉区内の学校園・地域集会施設にのぼりを掲出
- すみよし区民まつりにおいて、あいさつ運動のブース出展を行い、啓発用缶バッチを500個配付

5. 令和6年度の方向性について

引き続き、あいさつをすることの意識付けなどの広報活動を行い、区民にあいさつの輪が広がるよう、あいさつ運動のPRを続けていく。



1. 目的

地域での安否確認や避難訓練、学校での防災講演や体験型の防災学習を行い、地域・学校が連携して防災事業を進める。

2. 内容

- 学校と地域との合同訓練の実施
- 区役所と連携した学校での防災学習の実施
- 区総合防災訓練(毎年11月第2土曜日:午前中)

3. 令和5年度事業

指標

ここ1、2年お住まいの地域(小学校区)の防災力が向上したと感じている区民の割合 45%以上

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 区役所と連携した防災学習の実施 7校
- 小学校: 荻田(7月29日)、荻田南(9月11日、12月1日(予定))
- 中学校: 我孫子南(6月23日)、墨江丘(6月28日、11月25日(予定)、2月1日(予定))、東我孫子(7月29日)、大領(9月8日)、大和川(11月30日(予定))

5. 令和6年度の方向性について

- 区総合防災訓練については、毎年11月の第2土曜日(11/11)午前中に実施予定
- さまざまなニーズを見据えた避難所開設・運営訓練を実施し、できる限り多くの区民に訓練参加してもらえるよう検討を行う
- 学校と地域との合同訓練及び区役所と連携した学校での防災学習については、要望に応じて実施

1. 目的

区内小・中学校および幼稚園において、学校園の課題に応じて活動する教育活動補助スタッフが、継続的に学校園をサポートすることができ、児童・生徒・園児がより充実した学校園生活を過ごせるよう支援を行う。

2. 内容

学校園で学習支援や特別支援児童・生徒・園児への支援、語学支援など各学校園の教育活動に応じて活動する補助スタッフに対し、活動実績に応じた報償金を支出し、活動支援を行う。

3. 令和5年度事業

指標

補助スタッフが活動する学校園において、区が行っている支援が自校園の教育活動に役立ったと感じる割合80%以上

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 区内学校園にて37名が学校園補助スタッフとして活動登録中
- 以降も引き続き、区内各学校園で学校園補助スタッフとして活動予定

5. 令和6年度の方向性について

- 学校園の課題に応じて活動する学校園補助スタッフが、継続的に学校園をサポートすることができ、児童・生徒・園児がより充実した学校園生活を過ごせるよう、引き続き支援を行う
- 学校園のニーズに応じた人材募集の工夫を行う

1. 目的

令和4年度の全国学力・学習状況調査において、大阪市児童の国語の平均正答率は全国平均を下回っており、住吉区平均はさらに大阪市平均を下回る状況にあり、児童の学力向上が求められる。国語は、学力の基礎となる教科であり、漢字学習は、その重要な項目の一つである。目標設定をして漢字学習をすることで子どもたちの学習意欲を高めるとともに、自主学習の習慣づくりにも資するよう事業を実施する。

2. 内容

区内の小学校に通う児童(小学4～6年生のうち学校が選択する2学年)が漢字検定を受検することができるよう、検定料の支援を行う。

3. 令和5年度事業

指標

学校長へのアンケートで「漢検受検に際して、児童の家庭学習や授業以外での学習時間が増えた」と感じる回答: 70%

4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 漢字検定実施済5校(住吉小、遠里小野小、清水丘小、荻田南小、大空小)
- 今後実施予定9校

5. 令和6年度の方向性について

住吉区内の小学校に通う児童(小学3～6年生のうち学校が選択する2学年)が漢字検定を受検することができるよう、検定料の支援を行う。